

★ 第 150 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程: 2025 年 12 月 13 日(土)～14 日(日)

会場: 山口県立大学(山口県山口市桜島 6 丁目 2-1)

北キャンパス 2 号館(B 教室)

※持ち時間は S:30 分(報告 20 分質疑 10 分)、L:60 分(報告 30 分質疑 30 分)です。対面でご報告の場合、レジュメや資料は **30 部程度**ご準備ください。会場では報告にてプロジェクターが使えます。

※例会会場での対面とオンライン配信を組み合わせで行います。ただし当日、配信に十分な通信環境とならない可能性があることもご了解ください。

※報告者の方は、オンライン配信時に共有可能な資料についてでもご準備ください(形式は word でも PDF でも ppt でも、一般的なものであれば構いません。事前に事務局と打ち合わせをさせていただきます)。

12 月 13 日(土)

※対面開催+オンライン配信です。オンライン配信は zoom で行いますので、参加される方は各自ご準備をお願いいたします。配信 URL は <https://x.gd/E1UTs> です(URL を短縮しています。2 日間共通)。QR コードは↓



開 会 12:30(会場:北キャンパス 2 号館 B202)

自由報告部会I (12:30～17:50)

1.「インドネシアにおける開発と気候変動適応—マングローブをめぐる取組みの動向を中心に」(S)

室井 研二(名古屋大学)

2.「インターネット調査におけるパネルの影響」(S)

三隅 一人(無所属/九州大学名誉教授)

3.「地域における高齢者の居場所づくりと支援関係—福岡市西区周船寺の「ふれあいサロン」と地域カフェの事例から」(S)

万 文正(九州大学大学院)

4.「コロナ禍における民生委員による見守り活動—福岡市早良区の事例をもとに」(S)

周 寶珊(九州大学大学院)

休憩 14:30～14:40(10 分)

5.「ピアスタッフという一般就労の在り方—精神障害者への支援の事例をもとに」(S)

正木 真一郎(熊本大学大学院)

6.「地方圏における地域公共交通網と人口動態に関する分析—福岡県嘉飯山地域の生活圏と中心都市へのアクセシビリティに着目して」(S)

家高 裕史(関西学院大学)

7.「脳性まひ児・者のエイブリズムの内面化と抵抗実践—心理リハビリテーション参加者のグループインタビュー調査をもとに」(S)

酒井 宏美(九州大学大学院)

休憩 16:10～16:20(10 分)

8.「高等学校におけるジェンダー再生産に関する分析—Doing Gender 概念を手がかりにして」(S)

中島 健登(九州大学大学院)

9.「警固境界のエスノグラフィー—歪な可視性と不可視性を併せもつ社会問題」(S)

河村 大地(九州大学大学院)

10.「SNS 時代におけるフェミニズムの語りとアクセスの変容—日本と中国の比較分析から」(S)

屈 融(山口大学大学院)

次頁に続きます

懇親会 18:30～(A502) 会費 5,000 円

懇親会にご参加の方は、<https://x.gd/qr2Ya> (URL を短縮していますが「調整さん」です)を用いてお知らせください(ご参加の方のみで構いません)。相乗りタクシー手配をご希望の方は、その旨をコメント欄にご記入ください。

QR コードは→

当日の受付も可能ではありますが、人数の把握をしたいので、ご協力お願いいたします。上記「調整さん」を用いての申し込み締め切りは 12 月 3 日までいたします。



12 月 14 日(日)

※対面開催+オンライン配信です。オンライン配信は zoom で行いますので、参加される方は各自ご準備をお願いいたします。配信 URL は <https://x.gd/E1UTs> です(URL を短縮しています。2 日間共通)。QR コードは↓



自由報告部会Ⅱ (10:00～12:00) (会場北キャンパス:2 号館 B202))

1.「発話の位置と受容の相互作用——「本土」で語り部となったある沖縄出身女性の経験から」(S)

里村 和歌子(九州大学)

2.「子ども食堂の利用に関する計量分析」(S)

吉武 理大(山口大学)

3.「「ポスト農基社会」の農村を見直す」(L)

徳野 貞雄(トクノスクール・農村研究所)

閉 会 12:00